

# 平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 社会福祉課  
 担当名: 生活困窮者支援担当  
 内線: 3271

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B16	生活保護受給者チャレンジ支援事業費			一般会計	民生費	生活保護費	生活保護総務費	生活保護受給者チャレンジ支援事業費	
事業期間	平成22年度～	根拠法令	生活保護法第1条 埼玉県緊急雇用創出基金条例			戦略項目	06 時代に応え未来を拓く人材育成		
						分野施策	020101 確かな学力と自立する力の育成		
1	<b>事業の概要</b> 福祉事務所に職業訓練・住居・教育の支援員を派遣し、ケア-カ-と連携して受給者の自立を支援する。 (1) 職業訓練支援員事業 157千円 職業訓練の受講から就職までの一貫した支援及び高校3年生への教育支援員事業と連携した就職支援 (2) 住宅ソーシャルワーカー事業 1,051千円 無料低額宿泊所からアパート等への移行支援 (3) 教育支援員事業 183千円 中学生への学習意欲喚起、大学と連携した学習教室の運営、高校生の中退防止及び職業訓練支援員事業と連携した就職支援 [減額理由] 予算額と契約額に1,391千円の差額が生じたため。			<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 職業訓練支援員事業 295,782千円 (ア) 保護受給者に適性に依じた職業訓練を受講させ、就職に必要な技術習得を支援することにより、就労機会を拡大する。 (イ) 教育支援員事業と連携し、生活保護を受給する高校3年生に対し、就職活動の支援を行う。 イ 住宅ソーシャルワーカー事業 225,496千円 保護受給者の心身の状況や年齢等をふまえて、民間アパートや養護老人ホーム、グループホームなどの入居支援を行うことで、保護受給者の生活の質を向上させる。 ウ 教育支援員事業 430,226千円 (ア) 保護世帯児童に対する学習支援を通じて高校進学率を向上させる。また、保護世帯の高校生が中退することなくいきいきとした高校生活を送り、卒業できるよう支援することによって、保護世帯で育った子供が再び保護を受ける「貧困の連鎖」を防止する。 (イ) 職業訓練支援員事業と協力し、生活保護を受給する高校1年生及び2年生に対し、先輩就職報告会などを実施し、就職に対するイメージを獲得できるよう支援を実施する。					
2	<b>事業主体及び負担区分</b> (1) 職業訓練支援員事業 (県10/10) (2) 住宅ソーシャルワーカー事業 (県10/10) (3) 教育支援員事業 (県10/10)			(2) 事業実績(見込み) ア 職業訓練支援員事業 就労決定者 950人(うち、成人 750人、高校生 200人) イ 住宅ソーシャルワーカー事業 居宅移行決定者 800人 ウ 教育支援員事業 学習教室参加者1,150人(うち、中学生 750人、高校生 400人)					
3	<b>地方財政措置の状況</b> なし			(3) 減額理由 予算額と契約額に1,391千円の差額が生じたため減額するものである。 1,391千円					
4	<b>事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×1人=9,500千円(増減なし)								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,391	繰入金	諸収入						950,113
現計額	951,504	951,489	15						